

# とはち通信

※長崎西南部の史蹟・名勝・天然記念物等の紹介通信

## 第 4 号

※一説によると、かつて長崎西南部一帯を総称して戸ハヶ浦（とはちがうら）と呼ばれた時期がありました。現在、この名は存在しませんが、長崎西南部に対する尊敬の念をこめてこのようなタイトルをつけてみました。

二〇〇八年 九月 一日 落矢 八郎

### 長崎の台場（概略その二）

長崎の台場（その一）の続きです。前回是在来御台場七箇所のうち、三箇所（大多越・女神・神崎）の話をしました。今回は残り四箇所の台場とその続きを話していきます。

#### ・白崎台場（四番石火矢臺）

長崎市戸町五丁目目に存在した台場です。女神台場の南に位置します。現在は国道となつていいため、その状況を知ることができません（女神台場も白崎同様、国道と化しています）。台場の位置なのですが、おそらく現在のバス停付近（下り線）の可能性が高いです。国道から山手上りと住宅街ですが、その中に「従是南佐嘉領」の石柱を見ることが出来ます。

これは白崎が大村藩領に属することを意味する境界の石柱です。先程、台場の状況を知ることができないと言いましたが、一つ気になることがあります。それは、バス停付近の畑に石垣がある事です。石垣ならどこでも見る事ができますが、これは少し状況が異なります。この石材は付近の岩盤とよく似て

おり、そこから採石した可能性が高いと思われれます。また、石垣の形状ですが、あまり形が整っていないものが多く見られます。もともとの台場にあつた石垣を明治以降に移した事も考えられますが、実証する論拠が乏しいため推測の域を脱することができない説です。みなさんの頭の片隅に置く程度にして下さい。

#### ・高鉾台場（五番石火矢臺）

現在の長崎市神ノ島二丁目目に存在した台場です。高鉾島と呼ばれる無人島で、この北東側に台場が建設されたと思われれます。この地は佐賀藩領に属します。私は現地へ行ったことがありませんので詳細はわかりません。

#### ・長刀岩台場（六番石火矢臺）

現在、長崎市香焼町に存在した台場で、この地は佐賀藩領に属しました。島の北部の東側付近の海岸に台場を建設しました。ここはかつて蔭ノ尾島の造船産業の進出のため、島のほとんどは消滅してしまいました。辛うじて、島の北部付近が残存している程度

です。今は三菱造船の敷地となつているため、立ち入りは禁止されています。台場は神ノ島方向から望遠鏡等で観察することが出来ます。残存する唯一の在来御台場として注目したいところですが、ここには一九七九（昭和五四）年まで蔭ノ尾灯台が近代以降に存在し続けたそうです。したがって石垣の改良工事がされたことも視野に入れる必要があるでしょう。

#### ・蔭ノ尾台場（七番石火矢臺）

長刀岩台場の西側に位置する旧佐賀藩領の台場でした。これまでの時間的な経過は長刀岩台場と同じ島なので、ここでの説明は省略させて頂きます。現在、台場を見ることはできません。台場は消滅しています。これには理由があります。時は江戸から明治の世に移り、台場は現状維持のまま時間が経過してしまいました。しかし、一八九九（明治三二）年に要塞地帯法が定められ、長崎要塞地帯区域を陸軍省が設定したそうです。この時、蔭ノ尾島はその要所に位置した事で軍の施設が建設されました（他に建設された軍施設と

必要があるでしょう。現在、台場を見ることはできません。台場は消滅しています。これには理由があります。時は江戸から明治の世に移り、台場は現状維持のまま時間が経過してしまいました。しかし、一八九九（明治三二）年に要塞地帯法が定められ、長崎要塞地帯区域を陸軍省が設定したそうです。この時、蔭ノ尾島はその要所に位置した事で軍の施設が建設されました（他に建設された軍施設と

事務局  
とはち通信  
● ホームページ  
とはち通信とはち通信で検索  
● メール  
h\_ochiya@yahoo.co.jp

第5号へ続く...

（文責 落矢八郎）



高銚台場

⑤ 高銚台場 (土井首方向から撮影)

この島は無人の島です。本編では台場として紹介しましたが、ほかに殉教の島としても知られています。島の写真の左側が断崖絶壁になっているので、そこが殉教した場所だったのでしょうか。



白崎台場

④ 白崎台場 (神ノ島公園より撮影)

現在、かつての姿をみることはできません。地元の方に台場の話を聞いたところ、国道より一段上の竹林に案内してくれました。そこには直方体の大きな石材があり、当時のものかも知れないと言われていました。



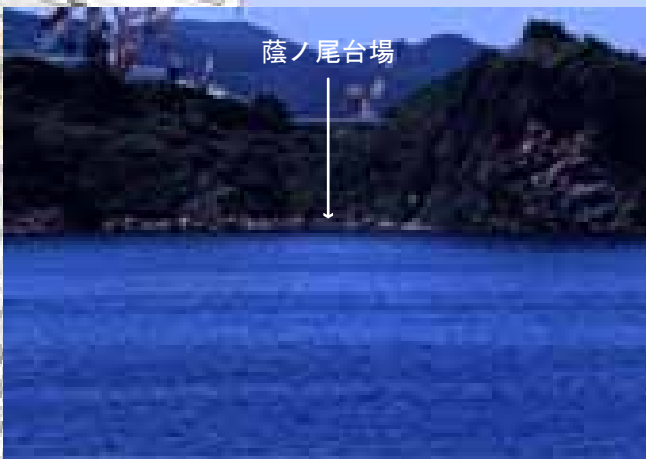
⑤

④

⑦

⑥

⑦ 蔭ノ尾台場 (神ノ島から撮影)  
 近代に破壊されたため、跡形は残っていません。この辺りは要塞地帯の中心に近いところでした。蔭ノ尾島と高銚島・神ノ島との間には水雷が敷設されていたそうです。



蔭ノ尾台場



⑥ 長刀岩台場 (神ノ島方向から撮影)

この上にはかつて白い灯台 (昭和54年廃止) があったと言われています。もと蔭ノ尾島・香焼島の子供たちはこの辺りでよく遊んでいたそうです。現在は造船の敷地のため立入禁止になっていますが、今後は船からの撮影にチャレンジしてみたいです。